



森ボラ通信

第24号 2004年 5月20日発行

北海道森林ボランティア協会

札幌市中央区北1条東1丁目明治安田生命ビル8F

Tel 241-8155 Fax241-8308

E-mail : shinrin-b@pc.aaapc.co.jp

緊急連絡、三角山リンゴ園「花見の宴」21日開催

5月21日のリンゴ園は「花見の宴」をやります（原則会費なし）。参加者は"オニギリ"等主食のみ持参してください。主菜は斉藤さんが「ご馳走」してくれるそうです。出欠を確認する時間はありません。登録していなくても飛び入りOKです。都合のつく方は参加しましょう。なお、当日はアルコールつきです。車使用は禁止とします。全員地下鉄琴似駅からタクシーに分乗してください。

7月5日発、羊蹄山登山企画参加募集します

予てより企画中の羊蹄山登山を下記の要領で実施します。森林層の垂直分布状況を体感しましょう。

【日時】平成16年7月5日(月)～6日(火)テレビ塔東北電ビル南側9:30出発(雨天中止、再設定)

【宿泊地】真狩自然公園内「羊蹄自然の家」(1泊2食5,800円、翌日昼食420円)

【その他】5日はパークゴルフ、自然公園内散策、温泉等を選択

※ 車を出せる方は参加申請用紙に漏れないように記載してください。

※ 現在の参加予定者数は16名（内女性6名）です。

※ ベテランの山中隊長、加治副隊長です。安心してご参加ください。

三角山リンゴ園作業

5月14日（金）参加18名、15日（土）参加5名、計23名が参加しました。

終日の草むしり作業でした。むしった草はタンポポとヒメオドリコソウ。後者は名前も姿もかわいらしいのですが、あつという間に増えて、土を肥やすクローバーを駆逐してしまうとのこと。既に彼方此方に群落をつくり、旺盛な繁殖力を見せつけていましたが、2日間で8割近くは抜き取りました。この作業で、ミミズの多さに感動しました。草の根を持ち上げる度にミミズが顔を出します。除草剤など使わず、草や小枝を敷き

詰め、斉藤さんが長年丹精した証です。美味しい林檎の秘密は、やはり"土"でした。（柴田）

5月14日はリンゴ園の活動主旨の共通認識を持つことで、今後気持ちよく作業に参加することを目指し、話し合いを行いました。下記のように主旨を確認しました。

記

◎本来、協会は個人に対してのボランティア活動は行わないが、斉藤さんは助けなしにはリンゴ園経営は続行できないとのことで、高齢農業者への稲刈りボランティア的な主旨にて活動する。

◎当協会は、基本的に交通費を支給しているが、リンゴ園は森林でなく、助成申請の対象にならないので原資が得られない。提供いただいた1本（斉藤さんはプラスαを考慮する考えあるとのこと）のリンゴの木の収穫物（約1000個弱）を現物支給的に考えたい。

◎当協会は虎谷さんグループを支援するつもりはない。従ってシイタケ等の栽培作業（5月22日予定）は有償にておこなう。（酒井）

東京大学富良野演習林見学会報告



5月12日（水）、13日（木）、参加19名。12日は快晴で定刻9時30分にテレビ塔東の北電ビル前を出発。車6台で往路のルートは三笠→桂沢湖→芦別手前で右折（新道）→富良野→山部としました。山部の演習林事務所到着13時30分とし、各車別に途中休憩および昼食をとり約束の時間には全員到着しました。

室内の机の上には宮本教官自らが撮影したという美しい写真が全部の表紙を違う写真で飾られた資料が用意されているのには感激でした。宮本教官から丁寧な説明を受けた後、バスでまずは広葉樹優良木の管理地に案内され択伐林を見学、見事な大木に感動しましたが、林道脇のコクワにからまれたトドマツの大木の幹に印されたヒグマの爪後に誰かが気づき一同ビックリ。森林資料館を見学して宿舎に入りました。夕食の食堂はわれわれで貸切状態でありました。札幌工科専門学校からこの演習林に就職した及川希君があらわれたりしまして、たちまち大コンパの様相となりました。食堂は20時に追い出されましたが、宿舎の一室で延長会となったようでした。

13日は一転して雨。8時30分出発で酒井林長直々の説明と案内でウダイカンバ優占山火再生林、ポインタ前の択伐林、直営生産林等を雨に濡れながら見学、正午現地解散となりました。帰路は車単位で別行動としました。

さすが、東大演習林という印象でした。「どろ亀先生」こと元林長の高橋延清さんが一生をかけて丹精込めて育てた択伐林は見事でした。大麓山の山麓にあるという本物の天然林には林道が倒木で通行出来ないとやらで見る事が出来ませんでした。また行きたいと思いつつ帰路につきました。

5月幹事会報告

撫順市の対応の報告、ホンデュラスプロジェクトの人選、澄川拡張部分作業、有明第二地拵えの方法、森林総研対応および三角山リンゴ園の課題の確認等を討議しました。

【出席幹事】加治、鎌田、酒井、芝、三浦、高野

澄川作業報告

5月10日（月）参加者13名。崩れたホダ木の組み直しと木工の素材集めをしました。ホダ木はどうも心許ない状態で、本当にキノコが顔を出すのか皆半信半疑な様子です。どちらにしても初めての挑戦、もし失敗しても成功への糧となります。木工の素材は主にエンジュとクリを集めました。クリは昨年倒した直径30cmほどの丸太を鎌田さんが見事なチェーンソー捌きで2〜3枚にたくさん挽いてくれました。立派なクリのテーブルとイスができそうです。今日は最後に、延長された活動場所を見に行きました。林層は今までより貧相でツルの被害も目立ちます。健康な森に導いてあげたいと、皆のやる気も高まりました。

それにしてもがっかりなのはゴミです。ゴミ掃除を活動に組み込んでください。そして、どうしたらゴミを捨てられないか工夫が必要ですね。皆で考えましょう。

今日は嬉しいオマケができました。コゴミとフキです。杉本さんが知らない間に収穫してくれました。（柴田）

撫順市第2陣来札対応

環境保護局一行6名に対し、酒井と高野で対応しました。大気および水質の汚染測定機器等の調査や測定方法を北大や環境庁つくば研究所等との交流により機器および技術の移転が検討された模様でした。

みどりの羽街頭募金三角山リンゴ園作業

5月6日(月)から初日は参加7名、2班に分かれ三越前に陣どり、午前中2時間やりました。参加者は昨年より少なかったのですが、期間中10日を除き、毎日参加しました。初日の感触では景気が上向きのせいか昨年よ

り実入りがよいと思いました。

木工の日

4月30日(金)、参加13名、杉本邸で10時開始。加治さんの木工作業理念の説明の後、各自思い思いの創作にはいりました。材料不足の感じでした。取り敢えず有るもので、発想したものを作りはじめました。これからの森仕事で材料を集める目が違ってくることでしょう。

みどりの羽街頭募金の出陣式

4月29日(祭)は恒例行事でみどりの羽街頭募金の出陣式が開催されました。昨年と違いまして本式は午後からとなっているのを事務局の下手際で知りませんでした、昨年同様と思い込み10時に市民会館前に集まりました。ボーイスカウトとガールスカウトの一部が午前中に街頭募金をするようなので、われわれもすぐに街頭にでました。取り壊し中の日劇の前で行いましたが、昨年よりは募金してくれる人が少し多いような気がしました。午後から市民会館の中でのセレモニーに引き続き、吹奏楽による音楽会を楽しみました。

有明第二年度はじめ作業

4月26日(月)、27、28の3日連続で本年度最初の有明第二の作業をおこないました。初日は植樹候補地の確認と境界確認。参加者18、10、7人。計延べ35人。

植樹候補地は根曲笹(チシマザサ)の密生したところで、伐採後長く自然放置され、笹が優占し樹木の種が発芽する環境ではありません。ここは人間が手を貸して笹を除去し、地拵えをしっかりとやる必要があります。面積は0.5haほどですが、人力作業なので大変な重労働となります。無理のない範囲で気長に取り組みましょう。

28日は朝から小雨模様でしたが、7人が参加しました。植樹候補地の周りの刈払いを終了しました。5月27、28日の次回作業日はタケノコ採りができるでしょう。

4月23日(金)、参加13名、到着いきなりアプローチ道路の整備が始まりました。土木作業です。前年の間伐材を利用して軟弱路面を補強しました。午後からは二手に分かれて別班は水場通路の急斜面梯子状階段をとりつけました。ギョウジャンニクのはしりが出ていました。

三角山リンゴ園作業

4月22日(木)、参加17名 ブルーベリー植栽用の植え穴堀、施肥の穴堀でえぐり出された石集めの作業をこなしました。

撫順市毛紹華副市長他6名の札幌行動報告

4月18日 定刻より30分近くも早く千歳空港に到着。昼食の後、13時30分空港発、支笏湖経由定山溪温泉「ふる川」に移動。宿泊。石川、酒井、高野、棟方が対応。

4月19日(月)「ふる川」よりJRタワーホテル日航に移動。9時30分より(株)北海道ジェイアール・コンサルタンツ坂崎和夫氏の誘導により、札幌駅周辺、地下街、駅構内を視察。駅構内では札幌駅長 山口力氏の説明を駅長室にて聞きました。特に撫順市出身の中国人案内嬢をつけていただき、一同大感激の様子でした。昼食後、JRタワーオフィスプラザ札幌9F会議室にて、13時より札幌駅南口開発(株)平川敏彦常務取締役と、経営企画チームリーダー 田中久成氏の札幌駅改築のコンセプトの説明と熱心な質疑応答を行い。予定を30分オーバーしました。

引き続き、同会議室で北海道森林ボランティア協会会員10名の出席のもとに、緑化支援・交流事業の範囲と内容の検討会を行いました。17時終了し、直ちに歓迎会会場「アサヒビール百景園」に移動し、札幌で活躍の北海道新華僑華人連合会副会長 田波氏、同会事務局の馬麗麗嬢他1名も加わり懇親いたしました。20時30分解散。

4月20日(火)、10時、北海道林務部長室に案内。梶本部長急用につき岡本光昭北海道水産林務部森林環境室長の応接をいただきました。今後の緑化交流について撫順市側から陳情がありました。

昼食後、13時30分に森林総合研究所北海道支所の苗圃を見学しました。15時30分に札幌ドームに移動。内部を見学しました。ここでは建築関係の方々が入念に視察されたので、最後の野幌森林公園視察をカットしました。酒井、高野で対応。

4月21日(水)、8時行動開始。午後をフリータイムにするように要求されたので、スケジュールをこなすために開始を2時間繰り上げました。

厚田村の風力発電を見学。前田森林公園近辺のパークゴルフ場、および手稲本町のパークゴルフ用具専門店を見まして、11時に三越に送りフリータイムといたしました。酒井、高野で対応。

4月22日(木)、札幌駅に見送り、7時発特急に乗車、函館に向かいました。高野が対応。

《期待出きる成果》

1. 撫順駅改修の基本構想を札幌駅南口開発(株)および日本設計が受託する可能性が発生。
 2. 撫順市のパークゴルフ場の計画・設計を北海道側が受託する可能性が発生。
- 西ズリ山に揚水する電力を風力で計画する構想を推進する可能性が発生。
世界の風車コンクールを提案。直ちに風力データ収集を開始する。

新入会員の紹介（4名）

■三木康臣 ■高橋清吉 ■広田全己 ■榎本秀子

2004年5月16日現在会員数 106名となりました。